

歯ブラシだより

今回は、歯並びと子供の習癖について書かせていただきます。

例えば指しゃぶり、タオルしゃぶりは、上顎と下顎の間に指、タオルが入られ、歯に力が働き、不正咬合の原因となります。

哺乳瓶の長期の使用も齲蝕や不正咬合を招きます。

鼻が悪い場合、口をあいて呼吸すること（口呼吸）は、唾液が口中に行き渡らないため細菌の繁殖を助長して、歯肉炎をひきおこします。

お子さんの悪習癖や疾患を直すのは大変なことですが、このように歯に悪影響を及ぼす場合があるので、気をつけてあげてくださいますようお願い致します。



こどものへやより

モンテッソーリ指導についてお知らせ致します。

現在、子供のサイズにあった、子供が自由に活動できる環境の準備に奮闘しています。

子供は内的衝動を生まれながらに持っている能動的な存在です。この作られた環境の中で集中現象を繰り返すことによって内面が満たされ、安定、正直、自立心、正義感、など、良い面が出てくるとモンテッソーリは言っています。この状態をモンテッソーリは正常化と呼んでいますが、それをこどものへやでは目標にしています。

ところで教具には、正しい使い方があります。例えば最近人気がある {色砂注ぎ} は、1つの容器の中の色砂をこぼさずにもう一つの容器に移す遊びです。

こぼさず移すためには、

1 右手で移す容器をもつ。

2 左手で移そうとする容器をおさえる。

3 移そうとする容器の端を移す容器に密着させ、少しづつ容器を傾ける。

などの動きを分解して丁寧に見せながら説明しなければいけません。

子供も集中して作業にあたります。何度もくり返したくて、満たされた表情をしていました。

1クラスの人数が多い場合は、'見せて丁寧に子供に説明するのは難しくなります。今後これが、こどものへやの課題です。

最初は、こぼすことの多かった色砂も、子供たちはこぼさず移せるようになりました。

1歩1歩指導方法を試行錯誤しながら、前進していきたいです。